

ASR補修の現場見学会 コンクリートメンテナンス協会



【佐賀】（一社）コンクリートメンテナンス協会は17日、亜硝酸リチウムを用いたASR補修工

事の現場見学会Ⅱ写真Ⅱを武雄市の山内高架橋で開催し、参加した県内外の行政機関やコンサル業

者ら約160人は、既設コンクリート構造物のひび割れの要因となつてい

るアルカリシリカ反応を抑制する工法に注目して

いた。冒頭、施工を担当している極東興和の干場善信営業部長は「現在、全国的に老朽化した橋梁の長寿命化対策が実施されているが、アルカリシリカ反応による表面のひび割れとともに、内部の劣化等が問題となつてい

る。ASRによる補修は、既設コンクリート構造物内部に亜硝酸リチウムを圧入し、アルカリシリカ反応を抑制する工法を行った。見学会では、現場代理人が工事概要やASRリチウム工法について説明。その後、参加者らは3班に分かれて武雄土木事務所発注の「山内高架橋の補修工事」の現場に移動し、ASRリチウム工法の施工の様子を見学した。現場では、下地処理等を終え、橋脚の断面に1mの間隔に圧入ホースを差し込み、亜硝酸リチウムをポンプで加圧注入を行った。